

【事業の概要】

	府中小学校（広島県）	足立入谷小学校（東京都足立区）	西淡路小学校（大阪市東淀川区）
実施頻度	週1回	年12回	週3回
実施場所	家庭科室 ※開錠は用務員（委託）	家庭科室 ※開錠は教員	家庭科室 ※開錠は担い手
初期費用	広島県が補助（10割 約300万円） ・エアコン ・冷蔵庫 ・調理器具（炊飯器など）	寄附金から支出 ・冷蔵庫	東淀川区が支出 ・冷蔵庫 ・調理器具（炊飯器など） ・食器消毒保管器
運営費用	0円 ・食材は企業からの無償提供。 ・府中小学校の場合は、隔週で手作りメニューを実施しており、一部食材について婦人会予算から支出。	実施1回あたり25,000円 （食材費、人件費※） ※有償ボランティアであるため。	200円/食（食材費、事務費） ・50円/食を徴収。 ・150円/食は行政からの補助金
担い手	府中町婦人会	入谷住区センター 舎人団地自治会の有志	淡路地域活動協議会 西淡路地域活動協議会
担い手の役割	・調理	・食材の準備 ・調理 ・資金（寄附金）の管理	・児童の募集 ・食材の準備 ・調理 ・資金（自己負担）の管理
学校の役割	・家庭科室の貸出し ・食材の受け取り	・家庭科室の貸出し ・食材の調達 ・児童の募集	・家庭科室の貸出し
行政の役割	・食材の準備 ・児童の募集 ・調理補助	・メニューの考案	・地域活動協議会への補助金支出

【視察のまとめ】

	府中小学校（広島県）	足立入谷小学校（東京都足立区）	西淡路小学校（大阪市東淀川区）
目 的	子供の能力と可能性を高めるために必要な生活習慣づくり	朝ごはんの大切さを伝えること	・朝食を摂ることの大切さ ・規則正しい生活習慣の定着 ・学力・体力向上の一助となること
特 徴	・県・町・学校・担い手が、いずれも過大な負担がない。 ・運営費用が低額。	・区の協力でメニューを考案。 （調理・食材選びの簡素化、アレルギー対応） ・家庭への啓発	担い手が多くの負担を引き受けることで、学校の負担を軽減している。
課 題	・習慣化させるには週1回では少ない。 ・短期に効果が出る事業ではないが、効果を示さなくては取り組む学校が増えない。	・原資としている寄附金が数年内に尽きる見込みである。	・ボランティアに欠員が生じている。 ・参加児童数が増えており、ボランティアの負担が大きくなっている。
効 果	<ul style="list-style-type: none"> ・以前は4人の子が教育相談室へ登校をしていた。直接の理由ではないが、事業をきっかけに普通教室に登校できるようになった。 ・家庭に問題があるなど救いたい児童もいる。<u>申込みをさせることで救える一助にもなっている。</u> <p>廿日市市立阿品台東小学校での効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日は遅刻が減少傾向。 ・実施日は授業に集中して積極的な姿勢が見える。「明らかに授業へのモチベーションが違う。」 ・参加児童の地域への愛着が強まっている。（アンケート結果より） 	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校で朝ごはん」を実施した日のその学級は、<u>具合が悪くなって保健室に行った子はほとんどいない。</u> ・教員による児童への声かけや交流の場となっている。 <p>参加者アンケート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学校がある日におうちで朝ごはんを食べる」 （H29：85% → H30：92%） ・「朝ごはんを食べた後の気分が良い」 （H29：85% → H30：92%） 	<p>「朝ごはんやさん」をやっている日は、子どもたちの様子が間違いなく違う。<u>とにかく元気。</u></p> <p>参加者アンケート</p> <p>「朝ごはんやさんにきて、何か変わったことがありますか」（複数回答）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝早く起きるようになった（66%） ・学校が楽しくなった（24%） ・勉強や授業が楽しくなった（8%） ・友達がふえた（13%）